

2025年6月30日作成 Ver.1.3

《情報公開文書》

血管内治療後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術の効果の検討

研究の概要

【背景】

脳動脈瘤に対する血管内治療（コイル塞栓術などを含む）は、低侵襲な治療法である一方で、術後再発率が高いことが問題点とされています。その再発時の治療法としては、再度血管内治療を選択する場合と、開頭脳動脈瘤クリッピング術などを含む開頭根治術を選択する場合がありますが、どちらがより安全で適切であるかなどについては、現在のところ一定の見解には達していません。

【目的】

今回、血管内治療後の再発脳動脈瘤に対する開頭根治術（開頭脳動脈瘤クリッピング術などを含む）の効果について検討することを、本研究の目的としています。

【意義】

本研究の結果として、血管内治療後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術の有用性について示されることになれば、治療難度の高い本病変の手術において、安全確実な治療法を患者さんに提供するための指針となりうると考えます。

【方法】

長崎大学脳神経外科で治療を行った血管内治療後再発脳動脈瘤の患者さんの中で、開頭根治術を行った方を対象として、その効果について検討します。

対象となる患者さん

長崎大学脳神経外科で治療を行った血管内治療後再発脳動脈瘤の患者さんの中で、開頭根治術を行った方が対象となります。対象期間は2003年4月1日から2023年12月31日です。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・対象となる患者さんの年齢・性別
- ・脳動脈瘤の部位・サイズ
- ・開頭根治術における手術時間・術中出血量・手術合併症
- ・術後の脳動脈瘤の閉塞率
- ・経過観察中の閉塞率の変化

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は 2025 年 7 月 3 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2026年3月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 脳神経外科 氏名：松尾 孝之 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7375
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 脳神経外科 担当者名 松尾孝之 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7375 FAX 095（819）7378	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	